

令和5年度 第2回有田市コミュニティ・スクール連絡協議会

11月27日、標記の会議を開催しました。この会議は、各校の運営協議会会長に出席いただき、それぞれの学校の運営協議会の実施状況等を交流し、有田市全体及び各校の学校運営協議会の向上を図ることを目的として、年に3回開催しています。

この日の会議では、主に右のような報告が行われました。

- ◇ スクールプランに係る中間評価について
- ◇ 学校行事等を中心とする子どもたちの様子について
- ◇ 各学校の地域との連携を図った取組について

各学校運営協議会では、それぞれの委員から、さらにより良い学校運営をめざした質問や意見が出されたということでした。

その後の協議では、学校の考えを尊重しつつ、地域からも学校教育に対する願いや思いを学校に伝え、有田市全体の学校教育の充実や地域の活性化に繋げていこうということが話し合われました。

引き続き、「コミュニティ・スクールと地域学校協働活動」を一体的に推進し、これまでの成果を継承するとともに、残された課題についても取組を深めていきたいと思いをします。

12/1 「港町ワクワクドキドキポイントラリー」

【港小学校】

この行事は、学校と育友会(保護者)・学校運営協議会(地域)が協働して実施しているもので、「異学年の縦割り班で協力し、楽しみながら港町を知る」学習です。

今年は、6年生が全体の企画・運営に関わりました。下級生のことを考えて丁寧に計画し、問題作りをはじめ、さまざまな準備をしました。自分たちでできないところは地域や育友会の人をお願いしました。当日はもちろん、事前事後の学習まで6年生全員が主体的に取り組みました。感想を一部紹介します。



開会式

【保護者・地域の人】

- 自分たちから進んで活動できることがすばらしい。
- 6年生が下級生を優しくリードしていた。
- 家でもよく話をしていた。(6年保護者)
- 地域の人と子どもとの交流が深まった。
- この活動は、地域で子どものことが話題になるきっかけになる。
- 活動を通して、港町のことを知り、愛してくれらと思う。

【6年生】

- みんなに楽しんでもらえて、心が温かくなった。
- 自分たちで考えながらやりとげていくのがおもしろかった。その中でたくさんの人に支えてもらっていることが分かった。
- 改めて地域や地域の人々の良さ、魅力を知ることができた。



保護者と地域の人がいろいろな所で見守りと安全指導をしてくれました。



声をかけてくれる地域の人



到着してポイント計算